

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公開番号】特開2019-215894(P2019-215894A)

【公開日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-051

【出願番号】特願2019-141402(P2019-141402)

【国際特許分類】

G 06 F 3/0487 (2013.01)

G 06 F 3/0346 (2013.01)

G 06 F 3/01 (2006.01)

H 04 M 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/0487

G 06 F 3/0346

G 06 F 3/01 5 7 0

H 04 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月4日(2019.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

端末装置の姿勢を判定する姿勢判定部と、

前記端末装置に加えられる加速度を検出する加速度センサと、

前記姿勢に応じて、複数のモードのうちのいずれかのモードに切り替える制御部と、

を備え、

前記制御部は、前記加速度に基づいて、前記姿勢に応じて前記モードを切り替えるか否かを設定する、

端末装置。

【請求項2】

前記姿勢判定部は、前記端末装置の姿勢の変化を判定し、

前記制御部は、姿勢の変化に応じて前記モードを切り替えるか否かを設定する

請求項1に記載の端末装置。

【請求項3】

前記制御部は、所定の姿勢から前記所定の姿勢と異なる姿勢への変化に応じて前記モードを切り替えるか否かを設定する

請求項2に記載の端末装置。

【請求項4】

前記姿勢判定部は、前記端末装置の姿勢の変化の方向を判定し、

前記制御部は、姿勢の変化の方向に応じて前記モードを切り替えるか否かを設定する

請求項1～3のいずれか1項に記載の端末装置。

【請求項5】

前記制御部は、前記加速度の大きさに基づいて、前記姿勢に応じて前記モードを切り替えるか否かを設定する、

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 6】

操作部をさらに備える

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 7】

前記操作部は、回転または押下を検出する

請求項 6 に記載の端末装置。

【請求項 8】

前記操作部は、ボタンである

請求項 6 または請求項 7 に記載の端末装置。

【請求項 9】

前記操作部は、ジョグダイヤルである

請求項 6 または請求項 7 に記載の端末装置。

【請求項 10】

前記操作部は、タッチセンサである

請求項 6 または請求項 7 に記載の端末装置。

【請求項 11】

前記操作部は、特定の方向に操作可能である

請求項 6 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 12】

前記姿勢判定部は、前記端末装置の筐体の傾き角度に基づいて前記姿勢を判定する

請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 13】

前記端末装置とともに輪を形成するベルトとをさらに備える

請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 14】

ディスプレイを備える

請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 15】

モードに応じて前記ディスプレイの表示を切り替える

請求項 14 に記載の端末装置。

【請求項 16】

モードに応じて前記操作部の操作によって実行される機能を切り替える

請求項 6 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 17】

端末装置の姿勢を判定することと、

前記端末装置に加えられる加速度を検出することと、

前記姿勢に応じて、複数のモードのうちのいずれかのモードに切り替えることと、
を含み、

前記加速度に基づいて、前記姿勢に応じて前記モードを切り替えるか否かを設定する端
末装置の制御方法。

【請求項 18】

端末装置の姿勢を判定する機能と、

前記端末装置に加えられる加速度を検出する機能と、

前記姿勢に応じて、複数のモードのうちのいずれかのモードに切り替える機能と、
をコンピュータに実現させ、

前記加速度に基づいて、前記姿勢に応じて前記モードを切り替えるか否かを設定するた
めのプログラム。